

1. アーバイン校舎中学部について

2018年12月8日

アーバイン校舎の中学部では、小学部で培った日本語力をもとに学習を継続することで、より高い日本語活用力を育ていくことを目標としています。現地校の勉強との両立が大変になりますが、時間の使い方を工夫することで、日本人としての教養を身につけ、多様な価値観で考えられる素養を身につけていってください。

中学部より・・・現地校や課外活動との兼ね合いを自分で判断し、自主的にそして計画的に授業の予習復習をする姿勢が大切になります。各生徒の発達段階や特質を考慮して、基礎・基本を大切にする学習活動を展開いたしますが、多感な時期でもあるため、ご家庭では親子のコミュニケーションをうまく取るご支援をお願いいたします。

2. 中学部で学習する教科

国語1	国語2	表現	社会
＊教科書を使って、総合的な国語力を身につける。 ＊現代文、古文、漢文をあつかいます。読み取りの力も身につけていきます。	＊当該学年の漢字・語句の学習を中心に行い、語彙力の伸長を図る。 ＊漢字の読み書き 3年間で約1100字 ＊漢字テスト（原則毎週）	＊日本語で考えたことや判断したことを的確に表現できる力を養う。 ＊国語1、2の学習と関連させ表現できる力を養う。 (慣用句,四字熟語,評論文,感想文,討論,俳句短歌)	＊教科書を使用した内容。基礎・基本の定着を図る。 ＊社会科で日本の文化・歴史・地理・経済・政治等、基礎的な知識を学ぶことを通して、日本人としての教養を身につける。

・表現について・・・国語学習の基本となる「聞く」「話す」を重視するとともに、読み手に的確に伝える文章の書き方についても、多様な具体例を用いて分かり易く示すよう工夫をしています。また、「転写法」も活用して、美しいノート作りができるようにしています。様々な言葉を知ってこそ、文章作成に生かすことができることを理解し、積極的に読書に取り組み生徒の育成を目指しています。

・国文法について・・・7・8年で文論・語論の基礎知識を学び、9年生でその復習と応用発展を指導します。

・社会について・・・3学年合同学習で、歴史、地理、公民を年度ごとに学習します。

3. よくある質問 Q&A

Q宿題はとて多くなりますか？

基本は小学部と同じです。質が高くなり、国語2で学ぶ漢字が多くなることを考えると、小学部より時間がかかるかもしれません。現地校との両立が難しい場合には、担任の先生と相談し、宿題に取り組む優先順位を決めていくことをお勧めします。

Qドリルは補習校用のものですか？

日本の学校と同じドリルを使用しています。教科によっては、基本と応用に分かれているドリルもありますが、基本だけ、応用だけなど、教科や単元によって使い分けていきます。

Qテストは小学部と同じように期末テストがあるのでしょうか？

同じ日に小学部と同様に教科ごとにテストを行います。

Q西大和の学習を現地校の日本語クレジットとして申請できますか？

現地校で外部教育機関の学習をクレジットとして換算してくれるかどうかをお調べの上、現地校が発行する用紙をご提出ください。現地校で第二外国語としての日本語学習を開始した学年から申請時まで、西大和学園補習校で受講した授業数と成績などを記載いたします。

4. 進学までの流れ

・12月1日に「卒業証書に記載する名前と内部進学希望の確認について」という用紙が配付されますので、「進学する/しない・検討中」などご意向を記入し、1月19日までにご提出ください。

・中学部に進学する場合は、3月17日までに、プロフィールを更新してください。写真の差し替えもお願いします。

・1月5日までにスナックタイムを活用して、現中学部の生徒から補習校の教科や現地校との両立などについて話を聞く機会を持ったあと、進学希望の生徒については意志確認の面談を持つ予定です。